

今月の



# 営農・資材ニュース



7月号

## 平成29年度の水稲の高温障害対策について

～今後の水管理～

平成22年産米では、登熟期の高温障害により白未熟粒（心白粒・乳白粒・基部未熟粒など）が多く発生し、特に平坦部のヒノヒカリでは1等米比率が大きく低下しました。

一方、昨年は出穂期から収穫期にかけての気温が平年並みで降雨日が多く、高温障害は大きな問題となりませんでした。

本年は、6月下旬まで比較的気温は平年並みで推移してきましたが、少雨のため空梅雨傾向となっています。また、大阪管区气象台では、7月、8月の気温が平年並みかそれ以上となる確率が50%と予想しており、登熟期が高温で推移する可能性がやや高いと考えられます。

出穂期以降、登熟期に気温の高い状態が続き少雨になると、高温障害が発生する可能性があります。天候には十分注意し、高温障害を受けないよう、下記のとおり適期・適切な栽培管理を行いましょう。

### <これから特に重要となる水管理>

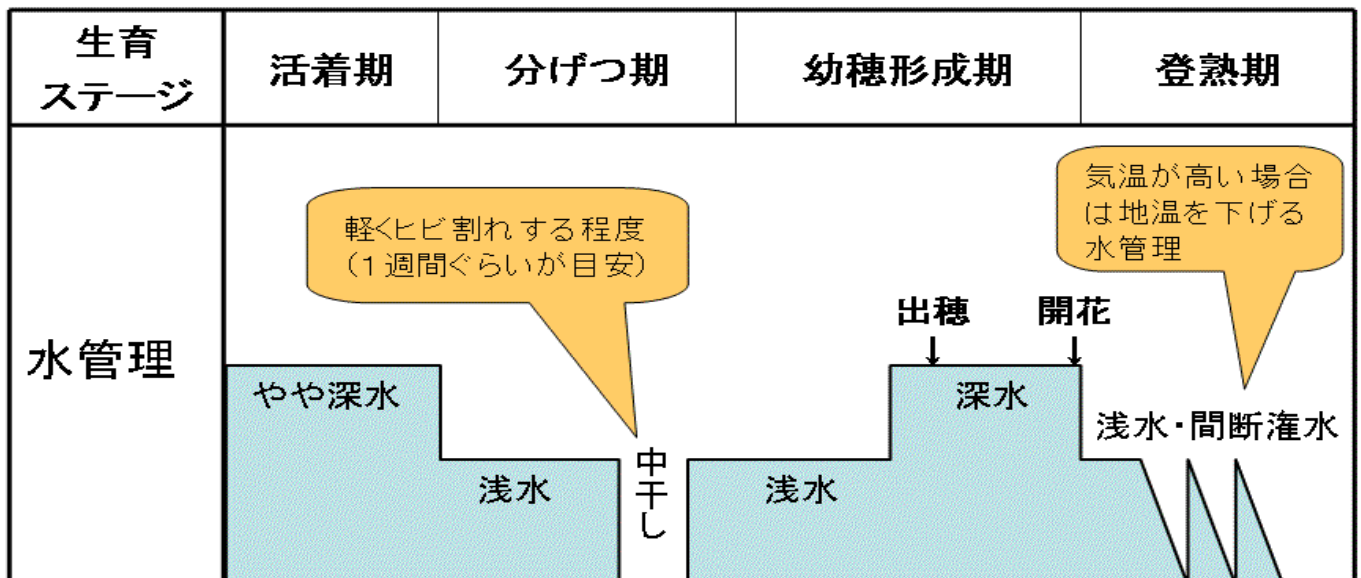
良質な米づくりのためには適正な水管理が欠かせません。移植から分けつ期までの水管理は保温、肥料の吸収、雑草の抑制等に重要な役割を果たしていました。これからは分けつ数の確保、幼穂の形成、開花及び登熟等を促すためにますます重要となってきます。

#### 出穂～登熟期の水管理

- 出穂から約30日間は土が乾きすぎないように注意し、ときどき水を入れます。ただし、**出穂～開花期は、最も水を必要としますので圃場の水を絶やさないように気をつけます。**
- 高温・高夜温によるイネ株の消耗が高温障害を助長します。**水利の良い田では、開花期以後にかけ流しの水管理をし、地温を下げて稲の消耗を抑えることで、品質低下の度合いを減らすことができます。
- 刈り取り作業のしやすさを優先して早期に落水すると、未熟米や胴割れの増加により品質が低下しやすくなります。高温下では品質低下が一層助長されてしまいますので、**収穫作業に支障のない限り、できるだけ落水は遅らせます。**

**収穫の間際まで稲の活力を維持することが重要です**

### 水管理のイメージ



施設園芸に優しい環境づくり

軽くて、目ずれのない熱融着遮光ネット

# ら〜くらくネット®

花卉・軟弱野菜・果菜類の遮光・遮熱で活着促進と過熟化防止に!!

外張り被覆で夏場の涼しいハウス内環境に最適



**軽くて薄くて作業性と耐候性に優れた被覆資材**

伸縮が少なく、軽くてソフトなナチュラル感で作業効率をアップ。

**目ずれがなく、カット部のホツレのない熱融着織物**

目ずれのない耐久性に優れた熱融着ネットで経済効果をアップ。

**優れた通気性と遮光・遮熱性で育成效果を発揮**

夏場の高温による蒸れを防ぎ、除湿効果で農作物に快適環境。

**優れた防虫・防蛾・防鳥効果で大切な農作物を保護**

花卉・軟弱野菜・果菜類の高級出荷で収益率をグーンとアップ。

**シルバー色素材の採用で虫の忌避効果を促進**

シルバー色素材が太陽光線の反射を促進して害虫飛来を防止。

内張りカーテンでハウス内の遮光・遮熱調整に最適



栽培される花卉・軟弱野菜・果菜類に合わせた  
適正遮光率をお選び下さい。

品番別遮光率とカラーの一覧表(材質:ポリエチレン)

品番	遮光率	カラー	別注加工例
S-30	30%	シルバー	●中継ぎ加工 ●ハトメ加工 ●ロープ加工 ●その他特殊加工 ●ご希望サイズ加工を承ります。
S-40	40%		
S-50	50%		
S-60	60%		
S-70	70%		
S-80	80%		
B-85	85%	ブラック	
N-15	15%	ナチュラル	
BS-65	65%	ブラック×シルバー	

●製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせは、お近くのJAならけん営農経済センターへ

発行：本店 営農振興部営農推進課 経済部農業資材課

